

平成27年第16回教育委員会定例会
(10月19日開会)

台東区教育委員会

○日 時 平成27年10月19日(月) 午後1時2分から午後1時43分

○場 所 教育委員会室

○出席委員

委 員 長	垣 内 恵美子
委員長職務代理者	末 廣 照 純
委 員	樋 口 清 秀
委 員	高 森 大 乗
教 育 長	和 田 人 志

○説明のために出席した事務局職員

事 務 局 次 長	神 部 忠 夫
生涯学習推進担当部長	上 野 俊 一
庶 務 課 長	柴 崎 次 郎
学 務 課 長	前 田 幹 生
児 童 保 育 課 長	上 野 守 代
指 導 課 長	屋 代 弘 一
教育改革担当課長 (兼 教育支援館長)	江 田 真 朗
事 務 局 副 参 事	山 田 安 宏
生涯学習課長	飯 塚 さち子
青少年・スポーツ課長	山 本 光 洋
中央図書館長	曲 山 裕 通

○日 程

日程第1 教育長報告

1 協議事項

(1) 庶務課

ア 台東区私立幼稚園連合会が実施する事業に対する後援について

(2) 指導課

イ 関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会が実施する事業に対する後援について

(3) 生涯学習課

ウ 特定非営利活動法人キッズドアが実施する事業に対する後援について

(4) 青少年・スポーツ課

エ 台東区民スポーツ振興協議会が実施する事業に対する共催について

2 報告事項

(1) 庶務課

ア 後援名義の使用について

(2) 教育改革担当

イ 教育懇話会の実施について

3 11月の行事予定について

4 その他

午後1時02分 開会

○垣内委員長 ただいまから、平成27年第16回台東区教育委員会定例会を開会いたします。

本日の会議録署名委員は、樋口委員にお願いいたします。

それでは、会議に入ります。

この際、あらかじめ会議時間の延長をいたしておきます。

初めに、10月8日付で教育委員に再任されました樋口委員からご挨拶をお願いいたします。

(樋口委員 挨拶)

○垣内委員長 それではここで、傍聴についてお諮りいたします。

本日の教育委員会に提出される傍聴願については、これより許可いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○垣内委員長 ご異議ございませんので、傍聴については許可いたします。

〈日程第1 教育長報告〉

1 協議事項

(1) 庶務課 ア

○垣内委員長 それでは、日程第1、教育長報告に入ります。

まず、協議事項を議題といたします。

事務局各課ごとに説明をお願いします。

初めに、庶務課のアについて、庶務課長、説明をお願いいたします。

○庶務課長 それでは、庶務課のア。台東区私立幼稚園連合会が実施する事業に対する後援について、ご説明をさせていただきます。資料1をご覧ください。

対象の事業でございますが、台東区私立幼稚園連合会「設立110周年記念式典」でございます。

実施日時は、平成27年11月25日水曜日、午前10時からでございます。

実施場所は、リバーサイドスポーツセンターの陸上競技場でございます。雨天の場合は、体育館のほうに移ることを想定をしているとのことでございます。

次に、事業の目的でございますが、台東区私立幼稚園連合会の設立110周年をお祝いをして、記念式典を挙げるものでございます。

恐れ入ります、資料の裏面をご覧ください。事業の内容でございますが、関係者各位より祝辞等をいただくとともに、式典の最後には園児が台東音頭の踊りを披露することですとか、大玉ころがしを行います。また、年長児と来賓の方々とお祝いの風船を飛ばすことも予定しております。

なお、今回教育委員会に対する後援名義の申請は初めてのものになりますけれども、過去に区長部局が私立幼稚園を所管しておりました10年前には、台東区に対して設立100周年の後援名義の申請を行って、承認をされております。つきましては、本事業は長年、区立

幼稚園とともに本区の幼児教育の発展に寄与していただいている私立幼稚園連合会の方々が設立110周年を記念するものでございますので、教育委員会としても後援をしたいと考えております。

よろしくご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。

○垣内委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○垣内委員長 それでは、庶務課のアについては、協議どおり決定いたしたいと思います。

これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○垣内委員長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(2) 指導課 イ

○垣内委員長 次に、指導課のイについて、指導課長、説明をお願いいたします。

○指導課長 台東区教育委員会後援名義使用の申請についてでございます。来る平成27年11月13日金曜日に、関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会及び東京都中学校進路指導研究会が主催をする、第41回関東甲信越地区中学校進路指導研究協議会 東京大会を御徒町台東中学校にて開催いたします。

本会は、「主体的に自らの未来を創造するキャリア教育の多様性と展望～充実した人生を送るキャリア教育～」を研究テーマに掲げ、研究実践を重ねてきております。本会の研究実践を普及啓発することで、各学校における生きる力を育む教育のより一層の推進を図ることが期待されております。

当日、御徒町台東中学校は、第5講時に全学年、全学級が各教科で公開授業を行います。本校はこれまでもキャリア教育の視点に立った授業実践を長年積み重ねてきており、当日の全体会では、本校の実践を富山雅之主幹教諭が発表いたします。

午前中は開会式、全体会、記念講演が開催され、午後の公開授業後、分科会が行われます。分科会では、各主題に沿った提案・協議・助言が行われます。また、教育委員会からは、開会式において、和田教育長よりご挨拶をいただく予定でございます。

本大会は、関東甲信越地区で毎年開催されておりますが、台東区で行われるのは初めてとのことで、約300名の参加者を見込んでおります。ちなみに昨年度は栃木県、来年度は茨城県での開催予定となっております。大会資料代は4000円となっておりますが、区内教員は無料とする予定です。進路指導部会では、管理職をはじめ進路指導主任、その他教員にも呼びかけを行っております。

以上、本大会開催にかかる、台東区教育委員会の後援名義申請について、ご審議の上ご了承くださいますようよろしくお願いいたします。

○垣内委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

予算書を拝見しましたら、大会総参加費というものがあまして、教員が250人、学生が20人とありますが、これはご興味・関心のある大学生か何かということでしょうか。例年このくらいなのでしょうか。

○指導課長 この20名というのは、主には大学生となっております。ただ、この本研究大会につきましては、これまでの学生の実績については、こちらで把握しておりませんので、わかりかねます。

○和田教育長 事業案内の中に、御徒町台東中の実践発表とありますけれども、これについて内容的に、特筆すべき点について聞いていれば教えてください。

○指導課長 今回一番の特色としては、キャリア教育が全教科にわたって授業が行われるというところが特色の一つであろうと考えております。実際に当日の授業では、例えば、数学の比例・反比例であるとか、音楽の授業、また社会科、道徳、英語、保健体育等多岐の教科にわたってこのキャリア教育についての実践が発表される予定でございます。

○樋口委員 キャリア教育のキャリアというのは、どういうことかよくわからないのですが、「主体的に自らの未来を創造する・キャリア教育の多様性と展望」。このキャリア教育というのは、中学の教員が生徒に対して将来どういう仕事にという意味でのキャリア教育なのか、将来いろいろな仕事がありますよと、それにおいて、各科目においてこういうことが必要であろうというようなところで、科目重視の教育なのか、どちらか教えてください。

○指導課長 キャリア教育、一言で申し上げると、子どもたち一人一人の社会的、職業的な自立に向けて必要な能力等を育てる教育であるということが言えます。

具体的には、勤労観・職業観を育てるということも当然このキャリア教育の重要な内容となっておりますが、これ以外にも、例えば子どもたちの意思決定力があるとか、人間関係の形成能力であるとか、将来設計の能力であるとか、情報活用能力、こういったことを各教科で育てていくこともキャリア教育の一端ということで認識をしております。

○末廣委員 もう既に41回目の大会ですが、台東区の中学校が参加するのは、今まではありましたか。

○指導課長 1都6県でこの研究会を持ち回りで行っておりますので、当然、進路指導の専門性の高い教員であるとか、また、増田校長が副会長という役員も務めておりますので、そういった関わりの中での参加はあるかと思いますが、過去の実績等については、現在把握しているところではございません。

○和田教育長 先ほど樋口委員から、キャリア教育の意味合いについてのご質問がありましたが、確かにキャリア教育という言葉だけ聞くと、なかなか一般の方にはどのような内容なのかよくわからないのですけれども、この名称、言い方については中学校あるいは小学校も含めて、学校教育の世界では一般的な言い方になるのですか。あるいは読み換えというか、言い換えは何かないのでしょうか。

○指導課長 現在では小学校でも展開をされておりまして、小学校、中学校の中では浸透している名称ではないかと認識しております。

○樋口委員 キャリア教育という言葉について、どういう定義をしているのかをしっかりとしないと、人によって捉え方が違ってくる。私はこれを見て、将来の職業教育だと思って見てしまう。だけど、今の答えだと、どうも違うようですね。今勉強している科目については、こういう人間形成の重要なところですよというのなら、キャリア教育のキャリアの言葉がもしかしたら、ちょっと違うかもしれません。

だからそのことについては、小学校校長会でもいいし、中学校校長会でやっているのなら、きちんと明確にされたほうが、聞くほうもわかりやすい。ましてや、これを一般の保護者が見たら、極端に言えば、うちの息子が将来、大工の道に進むように教えてくれるのかって話になりかねないのですよ、普通のキャリアの言葉で言うとな。

だから、この言葉が一般に熟知されているのであれば、それぞれの会での定義を明確にされたほうがよろしいと私は思います。

○指導課長 今ご指摘のとおり、まず一つは、やはりキャリアという言葉から、勤労観・職業観を育てるというところがあるわけですが、やはりそのキャリア教育の目指すものというものが明確になっていることは必要と考えておきます。

先ほど申し上げたとおり、意思決定とか人間関係の形成力であるとか、こういったところを育てることも重視しているところで、例えば、保健体育の授業であれば、団体競技で仲間の大切さやルールの大切さを学ぶことであるとか、例えば、理科や数学であれば、その学んだことがさまざまな職業などとも関係していくことを知ることであるとか、そういったところを、まず目指すものを明確にして、それを各教科で展開していくというのが、今回のこの大会の目指すところだと考えております。

○高森委員 キャリア教育は、確かに、大学でも高校でも今この言葉が使われているので、私は比較的になじみがあるのですが、これは第41回ということですよ。過去40年間毎年この協議会が開かれていると思いますが、キャリア教育という言葉が言われ始めたのは、ここ10年ぐらいではないかと思えます。それ以前にも進路指導研究協議会の中では、進路指導ということを中心いろいろなテーマで毎年大会が開催されてると思いますが、ここ数年はどのような傾向にあるのでしょうか。キャリア教育一辺倒なのか、それともこの進路指導全体のほかのテーマで開かれたことがあるのか。そういう情報がもしわかれば教えてください。

○樋口委員 今の高森委員の話は、矛盾しますよ。なぜなら進路指導であれば、今の職業教育になってしまう。だけど今話されたことは、人間形成教育ですよ。だからどっちになっているのって話だから、そこはちょっと矛盾しますよ。

○高森委員 過去を知りたいと思いましたので。

○垣内委員長 高森委員、樋口委員のご意見を踏まえて、また私自身も実は教育行政が非常に大きく変わってきたというところもあって、当初はいわゆる進路指導で非常に狭義の、

樋口委員がおっしゃったような意味での、どういう職業にフィッティングしているのか、ということをやっていたと思うのです、10年前は。

その後、世の中が非常に大きく変わりました、生きる力というようなことを言い始めたのはここ10年、20年ぐらいのことです、それは樋口委員がおっしゃったように、どの職業につくにはどういう勉強をすればいいのかというような接続関係が今、物すごく曖昧になってきているということがあります。

ですので、進路指導研究協議会なんです、そのスコープがどんどん変わってきて、もっと広がって行って、将来どういう職業があるのかはわからないけれども、今、指導課長がおっしゃったような、さまざまな能力を育成することが重要なのではないかというのが、キャリア教育の中に含まれてきたのではないかとこのように個人的には思っています。

そのあたりのことにつきまして、何か具体的な情報とかデータとかお持ちであれば、ご紹介いただけませんか。

○指導課長 まず高森委員からご質問のありました、この大会についてのこれまでの経緯につきましては、今の段階ではこちらでは把握をしておりませんので、申し訳ありませんがご了承ください。

それから、一般的に小学校・中学校で行われているキャリア教育というのは、先ほど申し上げたとおり、教科で行ったり、総合的な学習であったり、道徳の時間であったり、その教科とか領域の特性を生かしながら、いわゆるこのキャリア教育で身につけるべき力を高めていくということが本来の趣旨です。ただその中には、中学生の職場体験のようなものも含まれますので、身につけるべき力の部分と、職業観を育てていく部分と両方の要素が含まれているのではないかと私は考えております。

○樋口委員 今、大学でこのキャリア教育が出てきてから、インターンシップという実践の場において研修すると単位を出すようになりました。これはまさに職業の体験教育を大学ですることができないから、外に任せていこうというのがそうなんですよね。

でも、昔の話で言うと、人間形成教育だと思いますよね。それをキャリアという片仮名にしてしまっているから、何か幅広いかなど。今、委員長が言われたようなところになると思います。

先ほど委員長が言われたように、一般の人がわかるように、単語ですから、長年使われていた単語を変えろというつもりはないので、こういう教育の目標がありますというのは、わかりやすく、どこかで書いたほうがいいかと思います。これを見て通常、「充実した人生を送るキャリア教育」というと、やはり古い意見は「おお、いい仕事につけさせてくれるのか」としか思えないような感じがするのですが、ちょっと待てよ、勉強できなきゃだめよみたいなところになってしまうのはどうかと。それだったら、かつての教科・教育の充実のための教育研修会でいいのではないかと思うのです。だから、これは明確にされたほうがよろしいというのが私の提案で、こう変えろとは言いつもりありませんので、その辺をよろしくお願いします。

○垣内委員長 おそらく、このキャリアと言ったときに、従来型の民間企業に勤めて、給料をたくさんもらうという考え方ではなく、NPOであったり、ソーシャルビジネスがあったり、まさに人生をどういう風に、きちんと食べながら、でもお金だけではないような充実した生活を送るってということも含めてキャリア形成だと、最近は使われるようになってきたのではないかとこのように思うところもあり、また、大学は最後の、その後すぐ社会に出るわけですから、より具体的なところが必要ですけれども、義務教育の場合は、この後まだステップが幾つもありますので、そのための基礎をつくるというご趣旨なのではないかとも思われます。

そのあたりは、今の先生方のご意見も踏まえまして、よりわかりやすく、もし可能であれば、説明もできるような資料をご用意するなり何なり、そこは適宜、この団体のほうとご相談をしていただければと思います。

先生方このような感じでよろしいでしょうか。

(なし)

○垣内委員長 それでは指導課のイについては、協議どおり決定いたしたいと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○垣内委員長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(3) 生涯学習課 ウ

○垣内委員長 次に生涯学習課のウについて、生涯学習課長、説明をお願いいたします。

○生涯学習課長 それでは、特定非営利活動法人キッズドアが実施する事業に対する後援についてご説明申し上げます。資料は3でございます。

事業名は、青色LEDを使って、幻の「ホワイトライト」をつくりだせという事業でございまして、平成27年11月1日、日曜日、上野にあります国立科学博物館のほうで実施をいたします。

資料を1枚おめくりをいただきまして、事業の目的でございしますが、化学に興味のある子どもたちや、日ごろ科学に触れる機会のない子どもたちを対象に科学実験教室を実施し、科学への興味を醸成し、将来的な理系人材の育成につなげるという大きな目標のもとに実施するものでございます。

もう1枚おめくりをいただきまして、事業の内容でございしますが、2014年ノーベル物理学賞を受賞した青色LEDを題材にしながら、3色の光の組み合わせで自由に色を変えられる虹色LEDを組み立てるものでございます。参加する子どもたちの入場料は無料でございます。

後援をいただくことによりまして、台東区内の小中学生が安心して参加できる状況をつくりたいということでございます。ほかに、北区教育委員会、千代田区教育委員会への後援の名義使用につきまして申請をしております、そちらのほうにつきましては承認をさ

れたということでございます。

よろしくご審議をいただきまして、ご決定いただきますようお願い申し上げます。

ご説明は以上でございます。

○垣内委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

○樋口委員 この団体と国立科学博物館とはどういうご関係があるのですか。

特定非営利活動法人キッズドアは国立科学博物館を自由に使うことができるのですか。どのぐらいのお金を払うのか、もし関係がわかれば明確にお願いします。

○生涯学習課長 関係については詳しくは知りませんが、国立科学博物館は施設を有料で貸し出しをしております。貸し出しに当たりましては、やはり適切な利用なのかという一定の審査が行われております。

この度お使いいただきますのは、地球館の3階にあります実験実習室でございます。そちらの使用料が10時間以内ですと16万円以上ということで、使われるものによっても異なるということですので、会場使用料25万円は必要な検証はされているのであらうと考えます。

○樋口委員 委託を、ケーエルエー・テンコール株式会社から受けて事業を行っているようですが、下手なひもづけはやめたほうがいいと思います。そのあたりのことを確認したほうがいいので言うのですが、よくこういう非営利団体というのは裏がある場合もございますので。

○生涯学習課長 団体の概要のところを見ますと、年間の総収入は7,400万円という規模になっております。この団体の目的が、子どもたちの健全育成のためのプラットフォーム、出会いの場をつくるというのがこのNPO法人の目的ということでございます。この度のように企業のほうから資金をいただき、それを子どもたちに適切に渡す。その繋ぎを企画含めてされている団体かと思えます。

中には、東京都教育庁との連携をした事業なども請け負っているということもございますので、これまでも実績のあるところではないかと思えます。

○垣内委員長 今、樋口委員がおっしゃった点は、たしかに重要なポイントでございます。国立科学博物館ですよね。独立行政法人化しまして、空いているところはどんどん貸せという方針になりましたけれども、基準がありまして、公的な施設ですので、その目的に合致したものだけに貸すという意味で、そこの審査を通っているという部分では安心材料ではあります。

ただ、そうは言っても、NPOとしては非常に大きな金額を企業からいただいているということ。この企業を委託事業として、この企業の目的に沿った活動を委託されているということでございますから、この企業に対して、ケーエルエー・テンコール株式会社ですかね、ここがどういうところで、社会的な責任を果たすための、いわゆるメッセンジャーとしてやっているのかという辺りは、一度ご確認をいただいたほうがよろしいのかなという感じがいたします。

ほかの点につきましては、特段問題ありませんし、事業自体は非常によいものかと思えますけれども、その点だけご確認をいただいたほうがよろしいかなというように思います。

○高森委員 基本的な疑問ですが、この事業内容がLEDライトを使ってさまざまな色をつくり出すということですが、国立科学博物館にそうしたブースはありませんか。あるのであれば、特段事業をやらなくても、どこかにそのコーナーがあれば、できてしまうのではないかという気もするのですが。

○生涯学習課長 チラシ・企画書を見ますと、子どもたちがそれぞれに実験の道具をつくるということです。科学博物館でやるということで、そちらのお知恵なども拝借しながらという部分はあるかとは思いますが、実際につくり出すということだと思います。

○高森委員 科博にもいろいろありますよね、いろいろな実験ができるところが。

○生涯学習課長 はい。それぞれにつくるというようなところで、進めるのだろうと思います。

○高森委員 わかりました。ほかに何かいろいろ取り組むのかなと思ったら、LEDだけしか書いていなかったの、と思ったので。

○生涯学習課長 この度は、1日を3回に区切りまして、1回が2時間程度、40名ぐらいの子どもたちにご指導されて、17時までの間に3回やるということでございます。

○高森委員 ちなみに、この場合は国立科学博物館の入場料を払わなくても中に入れるということですよ。

○生涯学習課長 実験室の使用につきましては入場無料だと思います。加えて保護者の方も1名のみでしたら参加証をお渡しいたしますので入場無料でお入りになれるという仕組みになっているようです。

○高森委員 通路は別ですか。

○生涯学習課長 横から入れるようです。

○垣内委員長 国立科学博物館は場所貸しだと思います。

ほかに何かご質問はございませんか。

(なし)

○垣内委員長 それでは、生涯学習課のウについては、協議どおり決定いたしたいと思えます。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○垣内委員長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

(4) 青少年・スポーツ課 エ

○垣内委員長 次に青少年・スポーツ課のエについて、青少年・スポーツ課長、説明をお願いいたします。

○青少年・スポーツ課長 それでは、台東区民スポーツ振興協議会が実施します事業に対する共催についてご説明させていただきます。

本事業は、第10回台東区民ドッジボール大会でございます。日時は本年11月23日の祝日でございます。

場所は台東リバーサイドスポーツセンター第1・第2競技場を使います。

こちらの台東区民スポーツ振興協議会は、例年この事業を行っておりますが、後援名義自体は昭和60年から、後援名義の使用承認をしている団体でございます。

内容といたしましては、小学生の男女で2部門、それと大人混合1部門、合計3部門という形でドッジボールを実施するという形でございます。またあわせて、練習開放日も設けまして、その練習日も設定しているところでございます。

こちらの事業は長年台東区民から親しまれている事業でございますので、毎年、共催のご承認もいただいているところでございますので、ぜひご承認いただきたいと存じます。

説明は以上でございます。

○垣内委員長 ただいまの説明につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○垣内委員長 それでは、青少年・スポーツ課のエについては、協議どおり決定いたしましたと思います。これにご異議ございませんか。

(異議なし)

○垣内委員長 ご異議ございませんので、協議どおり決定いたしました。

2 報告事項

(1) 庶務課 ア

○垣内委員長 次に報告事項を議題といたします。

事務局各課ごとに報告をお願いいたします。

初めに、庶務課のアについて、庶務課長、報告をお願いいたします。

○庶務課長 それでは、庶務課のア、後援名義の使用についてご説明させていただきます。資料は5をご覧ください。

いずれも継続分の後援名義使用の申請でございます。

まず、庶務課の取り扱い分が1件、主催者が台東区の芸術文化財団でございます。事業名、宮中雅楽の夕べでございます。この事業は4年に1度開催しているものでございまして、今回で9回目となります。実施の日時は来年の2月6日浅草公会堂でございます。

次に、指導課の取り扱い分が1件、主催者が青山学院大学社会情報学部のワークショップデザイナー育成プログラム事務局というところで、事業名が、ぎゃくてんじかんワークショップというものでございます。実施日時が今年の11月8日日曜日、東京大学の情報学環福武ホールでございます。

次に青少年スポーツ課の取り扱い分が1件でございます。事業名と申請のほうでございますけれども、板橋Cityマラソン実行委員会でございます。事業名が2016板橋Cityマラソンでございます。荒川の河川敷を利用いたしまして、マラソン大会を開催するものでございます。実施日時は来年の3月20日日曜日でございます。

以上3件、よろしく願いをいたします。

○垣内委員長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○垣内委員長 それでは、庶務課のアについては、報告どおり了承願います。

(2) 教育改革担当 イ

○垣内委員長 次に、教育改革担当のイについて、教育改革担当課長、報告をお願いいたします。

○教育改革担当課長 それでは、教育改革担当から、平成27年度教育懇話会の実施についてご説明させていただきます。お手元の資料6をご覧ください。

項番1、目的についてです。教育懇話会は台東区学校教育ビジョンの実現及び充実に向け、有識者の方々からご意見をいただくことで、施策推進の具体的な方策等について、検討することを目的に実施しております。

項番2、委員の構成についてです。今年度から新たに東京女子体育大学名誉教授、尾木和英先生と、元台東区教育委員会教育委員、前田烈先生に加わっていただき、合計5名の委員の先生方からご意見をいただくことといたしました。

項番3、内容及び方法についてです。事務局で設定したテーマに基づき、個別にご意見をいただく形で進めてまいります。

また項番4、その他でお示しさせていただきましたが、この個別の会には保育園長会、幼稚園長会、小学校長会、中学校長会からそれぞれ代表の校園長先生方にも入っていただき、本懇話会への参加をお願いしているところでございます。その開催日程については今後決定しますので、そのような形で今年度進めさせていただければと思います。

昨年度のテーマとして、取り上げたものについては、主なものですが、学力向上について、学校選択制のあり方について、21世紀型学力について、ICT教育環境を生かした教育の推進について、道徳の特別教科化、こころざし教育との関連について、将来の本区を担う人材育成についてなどをテーマとしてご意見をいただいたところでございます。

私からは以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

○垣内委員長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○垣内委員長 それでは、教育改革担当のイについては、報告どおり了承願います。

3 11月の行事予定について

○垣内委員長 次に、11月の行事予定について、庶務課長、報告をお願いいたします。

○庶務課長 11月の行事予定でございますが、資料7をご覧ください。

11月は周年行事等がございます、非常に行事数が多くなってございます。

まず、教育委員会の定例会でございますけれども、5日木曜日、それから17日の火曜日、教育委員会の定例会がございますのでよろしくお願いをいたします。

次に、周年記念式典でございます。毎週土曜日に11月は入るという形になってございます。まず、7日土曜日が千束小学校の110周年でございます。翌週の14日土曜日が、忍岡小学校の140周年でございます。21日の土曜日が大正小学校の100周年記念でございます。28日土曜日が金竜幼稚園の50周年の記念式典でございます。

そのほかの行事につきましては、資料のとおりでございます。大変行事が多く恐縮ではございますが、ご出席のほうをよろしくご配慮いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご説明は以上でございます。

○垣内委員長 ただいまの報告につきまして、何かご質問はございませんか。

(なし)

○垣内委員長 それでは、行事予定については報告どおり了承いたします。

4 その他

○垣内委員長 その他、何かございますか。

(なし)

○垣内委員長 それでは、以上をもちまして本日予定された議事日程は、全て終了いたしました。

これをもちまして、本日の定例会を閉じ、散会といたします。

午後1時43分 閉会